

会議・打合せ記録

会議録	平成20年度 第2回豊田市公共交通会議
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) 豊田市公共交通会議規約の改正について</p> <p>(2) 岡崎市額田地域(下山地区)における乗合タクシーの実証運行について</p> <p>(3) 地域バス等路線の(おばら桜バス)の新規運行について</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) 稲武地域バスにおけるバス停の増設について</p> <p>(2) 中心市街地玄関口バスのバス停の一時移設について</p> <p>(3) 豊田市基幹バス(とよたおいでんバス)等の利用状況について</p> <p>3. その他</p> <p>(1) 第3回会議の開催時期について</p> <p>4. 閉会</p>
日 時	平成20年12月15日(月) 15:00~16:15
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室
出席者 (敬称略)	<p>【委員】 荻野 弘(豊田工業高等専門学校)</p> <p>藪押 光市(豊田商工会議所)</p> <p>野田 宏治(豊田工業高等専門学校)</p> <p>寺田 義弘(豊田市区長会)</p> <p>近藤 晃(豊田市老人クラブ連合会)</p> <p>澤田恵美子(豊田市消費者グループ連絡会)</p> <p>三浦 久芳(名古屋鉄道株式会社)</p> <p>梶原雅一郎(愛知環状鉄道株式会社)</p> <p>長瀬 敏裕(名鉄バス株式会社)</p> <p>堀合 正行(豊栄交通株式会社)(代理:加藤)</p> <p>牛田 昌弘(愛知県タクシー協会豊田支部)</p> <p>長崎三千男(愛知県バス協会)</p> <p>小林 宏(愛知県交通運輸産業労働組合協議会)(代理:横井)</p> <p>富本 茂(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)</p> <p>多田 直紀(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)(代理:加藤)</p> <p>内藤 洋(国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所)(代理:石野)</p> <p>市川 和彦(愛知県警察 豊田警察署)</p> <p>本多 幸治(愛知県警察 足助警察署)</p> <p>宮崎 秀嗣(愛知県地域振興部交通対策課)(代理:井上)</p> <p>川本 寛(愛知県豊田加茂建設事務所)</p> <p>吉橋 寿博(豊田市都市整備部)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>

資 料	1. 次第・配席図 2. 額田地域（下山地区）乗合タクシー実証運行計画（案） 3. 資料１～５：豊田市公共交通会議 平成２０年度第２回会議資料
-----	---

（要約）

（協議案件）

（１） 豊田市公共交通会議規約の改正について

○事務局 資料に基づき説明。

（２） 岡崎市額田地域（下山地区）における乗合タクシーの実証運行について

○岡崎市 資料に基づき説明。

○委員 運行事業者はどのように選定するのでしょうか。

○岡崎市 岡崎市内でジャンボタクシー等を所有する事業者で指名競争入札を行います。

○委員 豊田市に住んでいる方が、乗合タクシーを利用して岡崎市へ行くということはどうなのでしょうか。

○岡崎市 利用できないことはないですが、豊田市内に途中バス停は設置しません。また、ダイヤも額田地域（下山地区）からAコープへの往復を考慮して作成しております。

○委員 将来的には双方向間で利用しやすいバスになるといいですね。

（３） 地域バス等路線の（おばら桜バス）の新規運行について

○事務局 資料に基づき説明。

○委員 実証実験では高齢者の利用が多かったとのことですが、潜在需要把握のため、小原地区の70歳以上の人口をお聞きしたいです。また、おばら桜バスが運行することにより、高齢者が「運転免許を返納しても良い」と思えるような、代替交通手段となり得ますか。

○事務局 70歳以上人口のデータは手元にありませんが、65歳以上の割合は約32%、人口は1,412人です。また、運転免許の返納の可能性についてですが、実証実験での利用者は運転免許保有率の低い女性が多かったため、今後代替交通手段となり得る可能性は未知数と考えます。

○委員 利用者に対するアンケートの結果、電話予約の方法がわかりにくいという声もあったようですが、対策をどのようにお考えですか。

○事務局 電話予約に対応しているオペレーターからは「高齢者で一方向的に利用したい時間等を伝え、回答を聞かずに電話を切ってしまう人がいる。」という相談もあったため、オペレーターにもアンケート調査を実施し、問題点を把握して改善したいと思

います。また、小原地域内で視聴可能なケーブルテレビで、予約方法等の情報を流し、周知を図ります。

- 委員 本格運行にあたってバス停設置はどうするつもりですか。
- 事務局 実験に当たり、既に設置しておりますので問題ないと考えています。
- 委員 バス降車時に、運転手に次回の予約をできますか。
- 事務局 予約受付は乗車日の1週間前～1時間前までです。予約は運転手でなく予約センターにて受け付けています。
- 委員 診療所などの利用者の多いところでは、対面での予約も可能になると利便性が向上するので、今後に向けて検討をお願いします。

(報告案件)

(1) 稲武地域バスにおけるバス停の増設について

- 事務局 資料に基づき説明。

(2) 中心市街地玄関口バスのバス停の一時移設について

- 事務局 資料に基づき説明。

(3) 豊田市基幹バス（とよたおいでんバス）等の利用状況について

- 事務局 資料に基づき説明。
- 委員 保見地域バス、水源東バス利用者数が減少している要因は何でしょうか。
- 事務局 両路線とも、もともと利用者が限られており、その方々が体調不良などの理由で利用しなくなったことも要因の一つと考えます。具体的な原因を究明し、もっと地域へのPRを実施し、利用を促進していきたいと考えています。
- 委員 各地域から市の中心部という方向だけでなく、休日に観光等の目的で、中心部から各地域へ行くような取り組みを実施し、利用者数増やせると良いと思います。
- 委員 水源東バス、保見地域バス、平井バスのうち、電話予約方式（デマンド）で運行している路線はありますか。
- 事務局 平井バスです。
- 委員 中学生やその保護者にバスの利便性を知ってもらうことで、高校の進路選択幅も広がり、利用促進策となり得るのではないのでしょうか。また、利用促進策の一環として、1日乗車券等、乗車券の種類を考え開発していただきたいです。
- 事務局 来年度、バスの日イベントとして、あわせおいでんバスをPRし利用促進を図っていききたいと考えています。また、収益性以外にも公益性、地域特性などを考慮した評価基準の検討を進めておりますので、平成22年度に全路線の評価を実施し、サービス水準を検討して改善していきたいと考えています。さらに、通勤・通学時間帯における利用者集中による混雑緩和のため、バスの大型化・増車につきも計画しておりますので、改善を進めていきたいと考えています。

○委員 「エコ」と連携した取り組みも実施してはいかがでしょうか。例えば、エコシールだと紙を使うので、カードにポイントを貯められるような仕組みを検討していただきたい。また、バス停のベンチ等を、企業や個人のスポンサーを募って整備しても良いと思います。

○事務局 現在、おいでんバス3路線で、バスを利用すると愛知万博の入場券にエコポイントが貯まる社会実験を実施しており、効果を見て拡大を検討していきたいと考えています。

また、昨年、中部地方整備局名古屋国道事務所に、バス停上屋を2箇所導入していただきました。市でも年に数箇所ずつ導入していきたいと思います。

○委員 時刻表や運賃を知りたいときに携帯電話を使えば確認できますが、バスマップに時刻表を挿入すれば、携帯電話を使えない高齢者にとっても、さらに便利になるのではないのでしょうか。

○事務局 バスマップはバス路線の全体を把握していただきたいという趣旨で作成しました。また、時刻表は路線ごとに作成しております。バス車内やみちなびとよたなどで配布しておりますが、より入手しやすくするようにすることも検討したいと思います。

【その他】

(1) 第3回会議の開催時期について

○事務局 次回会議の開催時期は1月下旬～2月上旬頃を予定しています。